

## 平成 27 年度 ( 数学 ) 授業改善推進プラン

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義形式の授業に合わせて、体験的・問題解決学習を取り入れ、生徒の意欲向上を図る。</li> <li>・生徒の到達度を把握し、補充的学習を必要とする生徒について対応し、基礎学力向上につなげる。</li> <li>・発展的学習を取り入れることにより、生徒のさらなる学力向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導をできるだけ多くし、生徒の理解度を把握し、場合によっては補充的な説明を加えていく。</li> <li>・図形の授業においては、言語活動を取り入れ、生徒の興味を喚起するような教材・教具の工夫をする。</li> <li>・各単元の最後に発展的な問題を取り上げるようにし、数学的なものの見方や考え方のよさを感じさせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの内容を個々の段階（基礎から発展）に合わせてられるように工夫する。</li> <li>・理解しづらい部分については、板書などで工夫していく。</li> <li>・定期考査前、長期休業中に補充学習教室を実施し、基礎的な学力の定着を図る。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義形式の授業に合わせて、体験的・問題解決学習を取り入れ、生徒の意欲向上を図る。</li> <li>・生徒の到達度を把握し、補充的学習を必要とする生徒について対応し、基礎学力向上につなげる。</li> <li>・発展的学習を取り入れることにより、生徒のさらなる学力向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率の授業においては、体験的な活動を取り入れ、生徒の興味を喚起するような教材・教具の工夫をする。</li> <li>・机間指導を多くし、生徒の理解度を把握し、場合によっては補充的な説明を加えていく。</li> <li>・各単元の最後に発展的な問題を取り上げるようにし、数学的な物の見方や考え方のよさを感じさせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査前や長期休業中に補習を行うことによって、基礎的な学力の定着、発展的な学力の補充を図る。</li> <li>・各単元の最後にまとめの時間を多めに作り、個別に対応する時間を設ける。</li> <li>・放課後の時間を利用して補習を行い、基礎学力の定着を図る。</li> <li>・授業内で得意な生徒に対しては、随時発展的な問題を提示していく。</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義形式の授業に合わせて、体験的・問題解決学習を取り入れ、生徒の意欲向上を図る。</li> <li>・生徒の到達度を把握し、補充的学習を必要とする生徒について対応し、基礎学力向上につなげる。</li> <li>・発展的学習を取り入れることにより、生徒のさらなる学力向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動の授業を取り入れるなど、生徒の興味を喚起するような教材を工夫する。</li> <li>・机間指導を多くし、生徒の理解度を把握し、場合によっては補充的な説明を加えていく。</li> <li>・各単元の最後に発展的な問題を取り上げるようにし、数学的な物の見方や考え方のよさを感じさせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの内容を、個々の段階（基礎から発展）に合わせてられるように工夫する。</li> <li>・定期考査前や長期休業中に補習を行うことによって、基礎学力の定着を図る。</li> <li>・授業内で得意な生徒に対しては、随時発展的な問題を提示していく。</li> </ul>